



教員名：

武山 良三  
Ryoza Takeyama

専門分野：

サインデザイン



作品名：井波彫刻手彫り看板プロジェクト

共同制作：武山 良三（基本デザイン）  
井波彫刻協同組合（制作）

寸法：H. 900 × W. 300 × D. 270 mm

材質：ケヤキ

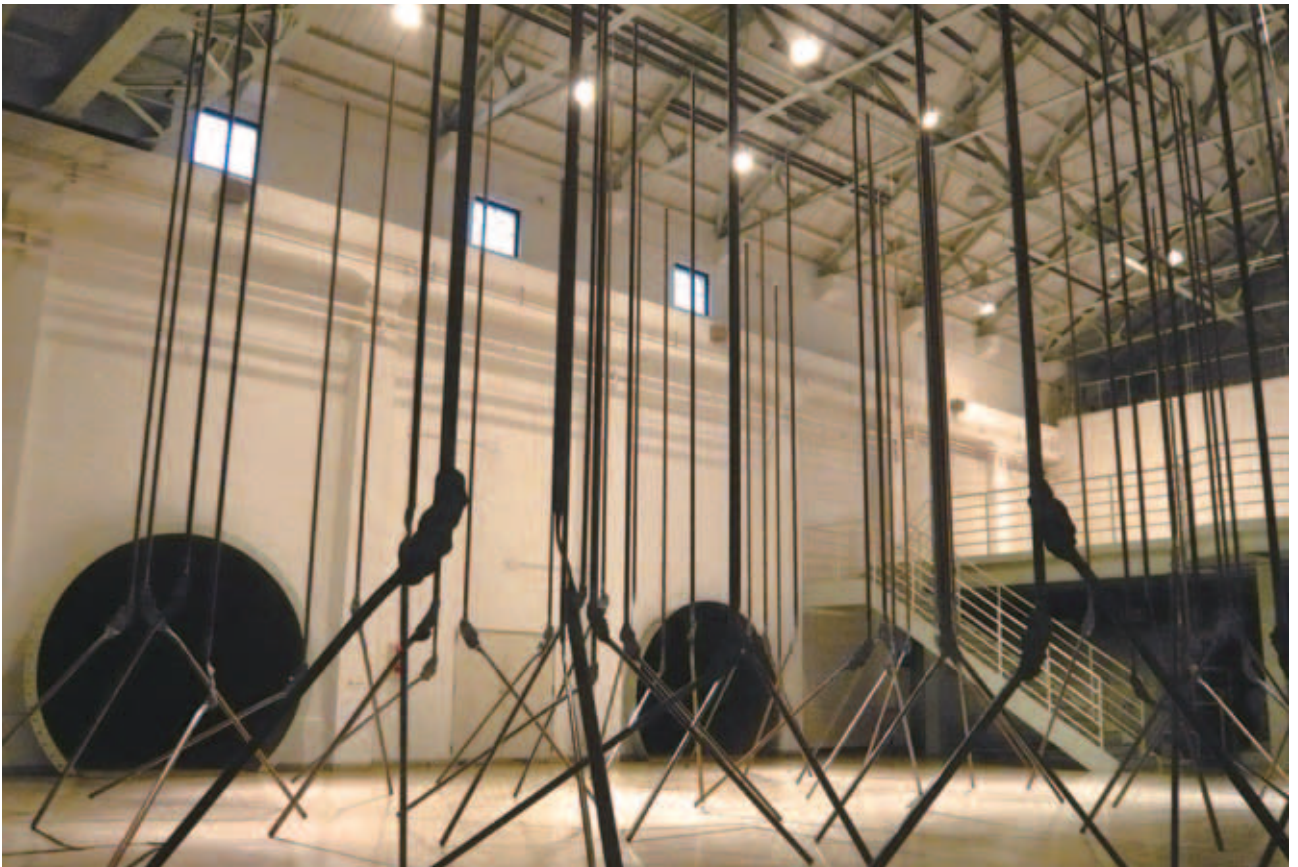
制作年：2009年

備考：第43回日本サインデザイン賞  
中部地区デザイン賞

概要：伝統を誇る井波彫刻の新たな用途開発事業として実施した。社寺や伝統的に町並みに調和するサインを目標に、地元の瑞泉寺を事例にモデルを制作した。基本デザインをベースにそれぞれの職人の裁量によって手彫りの味わいを活かすことのできる基本デザインを制作した。



教員名：  
中村 滝雄  
Takio Nakamura  
専門分野：  
金属造形



- 作品名 : 陰の領域  
寸法 : H920 × W1450 × D1450cm  
素材 : 鉄  
技法 : 鍛造、溶接  
制作年 : 2008 年  
発表場所: 下山芸術の森 発電所美術館  
作品解説: この作品は、鉄という素材によって作られた一つ一つの形象による表現ではなく、また複数の構成によってモニュメンタルな立体造形物にした表現でもない。焦点が定まらない広大な空間内に 60 本の鋼材を構成し、鉄や空間を別の視点から眺めることによって日常では認識されない別の存在物として、あるいは意識が及ばない陰の領域に誘い込んで問いかけ、知覚の陰翳を蘇らせる手立てになる。



教員名：

西島 治樹  
Haruki Nishijima

専門分野：

メディアアート／映像インスタレーション



作品名 : chopy

寸法 : スクリーンサイズ W200 × H150cm

素材 : プロジェクター、磨りガラス

制作年 : 2008年～2010年

発表場所 : 氷見

作品解説 : 窓の隙間や磨りガラスに手や洋服をかざすと、映像とリンクした街のインフォメーション、詩人の詩が、オレンジ色の文字となり交互に浮かび上がります。



教員名：

長谷川 総一郎  
Soichiro Hasegawa

専門分野：

彫刻／美術教育



作品名：HOKORA XXX VII

寸法：H150 × W102 × D60

重量：105kg

素材：樺材、樟材、御影石、コンクリート、真鍮板、金箔

工程：樺材の根っ子の洞を焼黒技法で整理し、洞中に川原の御影石を置き、その上に樟材の双体トルソを立てる。トルソ表面には角切りの金箔を散らす。手前の垂直面には自然の形態に沿って真鍮板を貼り、全体を筒状のコンクリートの上に載せた。

制作年：2009年10月

出品：第63回二紀展（会員出品）U氏賞

場所：新国立美術館



教員名：

林 暁  
Satoru Hayashi

専門分野：

美学／漆工芸



#### 食籠について

主に茶の湯の席で用いられる、食物を入れる蓋付の器。中国の元・明時代に作られた食籠が日本に輸入されて、室町時代から唐物として珍重された。君台観左右帳記（くんだいかんそうちょうぎ）に、書院の棚飾りの一つとして図に描かれている。茶席では主菓子を入れる器として用いられるようになり、輪花型など様々な形のものがある。素材はもともとは漆器であったが、陶器でも作られるようになった。

#### 「乾漆蓮花食籠」について

##### ○制作意図

花をモチーフとした器の製作を続けてきたが、これまでは輪花型、あるいは稜花型のものが多かった。今回は花卉一枚一枚を独立させ、それぞれの花弁の微妙な形のニュアンスを器の側面に表現し、また蓋の甲面には水を張ったような緊張感とそこから花卉の間を水が流れ落ちるような造形を試

みた。上から投影した形は丸に近い六稜であるが、蓋の開け閉めに支障のないように立ち上がりや合口の形に配慮した。蓋甲面の塗りぼかしは、色彩的な効果を意図したと同時に、本年、日本で皆既日食が見られたことから、師である田口善国先生の代表作が思い出され、また増村益城先生得意の技法をお借りした、両先生へのオマージュでもある。



教員名：  
ペルトネン 純子  
Junko Peltonen  
専門分野：  
金属工芸／美術教育



作品名 : Brooch  
寸法 : W100 × H35 × D55mm  
素材 : Brass  
展覧会名 : 2008 Japan Jewelry Art Competition



作品名 : Necklace  
寸法 : φ 40. H50 mm  
素材 : Silver  
制作年 : 2009 年



教員名：

前田 一樹  
Kazuki Maeda

専門分野：

ビジュアルコミュニケーション デザイン



作品名 : 高岡 開町 400 年記念 和紙 (2009 「ギネス世界記録」認定)

寸法 : 7 × 14 m

素材 : 楮紙

技法 : 溜め漉き

制作年 : 2009 年

発表場所 : 高岡市民会館「開町 400 年記念式典ほか」



教員名：

丸谷 芳正

Kunimasa Maruya

専門分野：

インテリア／プロダクト／家具／木材



写真提供：北日本新聞社

作品名：Sugar Production I

寸法：W2000 × D1850 × H700

素材：県産スギ材

技法：木地仕上げ

制作年：2009年

発表場所：ヒミング・アート・センター

作品解説：森は静かな工場、水と二酸化炭素で糖をつくる。樹木は森で育ち、板は樹木から製材され、テーブルは板からつくられる。もう一度、森に入って樹木たちの声を聞いてみようと思う。





教員名：  
横山 天心  
Tenshin Yokoyama  
専門分野：  
建築意匠



作品名 : House Y  
 作品仕様 : 木造 2 階建 (在来軸組構法) 延床 73.7 m<sup>2</sup>  
 制作年 : 2009 年 5 月 ~ 2010 年 4 月  
 建設場所 : 東京都杉並区  
 共同制作者 : 山田秀徳

この住宅の敷地は小さな旗竿敷地で、周囲に近接して建物が建っている。そのため、2 階 LDK の天井の真ん中に、細長いトップライトを設け、その下にガラステーブル、ガラスの床を設けることで、1 階にまで光が行き届き、各レベルに緑を配すると立体的な屋内庭園として楽しめるようになっている。また、そのスペースを介して、1 階の各部屋と 2 階の LDK が視覚的に連続し、程よい距離感を創り出している。



教員名：  
渡邊 雅志  
Masashi Watanabe  
専門分野：  
プロダクトデザイン



作品名 : おじいちゃんの釘フック  
寸法 : L92 × W18 × D18  
: L72 × W14 × D14  
: L53 × W10 × D10  
素材・仕上 : スチール、メッキ、塗装  
コンペ名 : 「MUJI AWARD 03」  
受賞 : 銅賞  
展覧会名 : 「INTERNATIONAL DESIGN  
COMPETITION MUJI AWARD 03」展  
開催場所 : 無印良品有楽町 ATELIER MUJI  
コンセプト : 誰でも同じ長さ、同じ角度で打てる  
釘のかたちのフック。  
制作年 : 2008 年



作品名 : 万葉小学校卒業記念ベンチ  
寸法 : W2000 × D200 × H320/1 本 (計 12 本)  
素材・仕上 : 檜、塗装、東石  
設置場所 : 高岡市立万葉小学校  
コンセプト : 文字を描く。気持ちを描く。  
組み合わせ自由な、角材ベンチ。  
制作年 : 2009 年